

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|-----------------|-----|-------|-------------------|--|
| 法人名 | 医療法人社団 はっぴねす | 代表者 | 本田誠四郎 | 法人・ 事業所 の特徴 | その人らしく、住みなれた環境で出来るだけ長く生活を維持することを目的として、当法人ならではの介護と医療の両輪でスムーズな連携を活かした継続的かつ専門的な認知症ケアを提供している。また急変時や特変時・緊急時にも柔軟に対応しながら、ご利用者の状態変化に合わせてサービス提供内容の変更を常時行っており、住み慣れた地域での生活を維持できるよう支援している。 |
| 事業所名 | こころ庵尾道駅前 | 管理者 | 今川智恵 | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|----|
| 出席者(聞き取り) | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| | 人 | 1人 | 1人 | 人 | 1人 | 1人 | 人 | 人 | 人 | 人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|------------------------|--|---|--|---|
| A. 事業所自己評価の確認 | 少ない人数だからこそ出来る取り組みを考え、例えば現在皆さんで取り組まれているプランターでのお花作りに加え、ネギやレタスなど簡単に作れるものも育てていき、夕食に添えて食も楽しんでいただく。 | プランターを囲み小さな芽をつきながら会話を弾ませたり水やりを日々の日課とし成長を楽しんでおられた。水のやり過ぎか日照不足かは不明だが少し成長しては枯れてしまい収穫はできませんでしたが植物を育てるという事を通し自然と会話が広がり、収穫できなかったという失敗もご利用者同士で原因を探り良い経験となった。 | 少人数を活かした関わりをされており、自宅では出来ない事を一緒に行っており、いいケアを実践されていると思います。 | 日々の関わりの中で得られるご利用者様の持っている力をスタッフ間で共有し、できないことを補うだけのケアではなく在宅生活の維持を見据えた“ご利用者様の気付く力・考え行動する力”を引き出すような行動（声かけ）を行っていく。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | 少人数ならではの落ち着ける空間がご利用者にとって休息の時間となっているので、個別プログラムをする方、ゆっくり休む方と自由な時間を提供していく。また体温調整が難しくなっている方々なので、温度設定や掛けものの調整を行い、室温調整には考慮していく。 | 日中の疲れを癒す休息の時間と、少人数ならではのゆとりを持った関わりができた。急に怒りだしてしまう事がある方もゆとりのある関わりの効果なのか、そのような事は全く見られなくなり穏やかな様子で過ごすことができている。また、7階と見晴らしも良く建物を赤くそめる夕日に気づき窓へ近づき景色を楽しんでいる。 | 静・動のバランスのとれた過ごし方で、安心できる空間で穏やかに過ごされていると思います。尾道が見渡せる場所で、風情のある景色と共にゆったりと過ごしているご様子が想像できます。 | コロナ禍ということもありこまめに換気を行ったり、ご利用者様同士の距離感に気を付けながらその時々個々の思いに沿った過ごし方を一緒に考え提供していく。また季節の変化を感じたり安心できる空間づくりを意識し、季節のディスプレイ、壁面レクリエーションに取り組んで行く。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | 商店街という活力のある立地に恵まれた環境を活かし、地域行事・そのお手伝いにも積極的に参加し、これからも地域を盛り上げ地域と協力・共存できるようにしていく。 | 今年度予定していた地域交流のイベントはコロナ感染症で全て中止せざるを得なかった。ご利用者にとっても残念な思いをさせてしまったが、その分施設内でのイベントを増やした。人と人との距離を保つ生活になったが、地域の方との関わり合いを維持し在宅生活継続を見据えたケアを行っている | コロナ禍でも、休むことなくサービスを継続されており大変心強い存在です。皆さんご苦労されて感染対策を徹底しながら日々対応されている事と思います | 地域の中の特に認知症や精神疾患に強い事業所として認知され、地域に貢献できるよう、これからも窓口を広げてサービス提供を継続していく。 |
| D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み | 地域に向いて本人の暮らしを支えるという事は、地域での在宅生活を少しでも長く継続支援していく事として踏まえ、認知症からくる行動障害があっても安心して生活できるためのサービスを組み込んでいく。認知症＝施設入所ではなく、ご家族が仕事をしながらでも介護ができる、安心して在宅で生活するための手段として小規模の多機能サービスを活かし柔軟な時間や内容のサービスに対応していく。 | 自宅への訪問サービスでは送迎の際に会う地域の方々にご挨拶を行い、地域の方に受け入れてもらい、住み慣れたご自宅での生活が円滑になるよう取り組んだ。ご家族が仕事をしながらでも介護できるよう、その都度柔軟にサービスを組み立て支援した。 | 住み慣れた場所での暮らしを続ける事の難しさが認知症が進行するにつれて増えてくる。でもぎりぎりまで、ご家族とご本人が地域での生活を維持できるようサポートを継続するこういったサービスの存在は大きいと思います。 | 地域に向いた先々での温かいお声かけやご配慮に感謝し、ご本人とご家族を支えるサービス事業所としての役割を自覚する。その方が地域に少しでも長く住み続ける事ができるようご本人のケアやご家族の介護負担軽減のお手伝い出来るよう取り組んでいく |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | 認知症が進行するという事は出来る事が減り、出来ない事が増えたという事ととらえない、また急にそうなった訳でもなく、少しずつ変化している。出来ないから出来るようにするのではなく、日々の些細な事も記録していき現状の認知症レベルに合わせたケアを考えていく事業所としての取り組みを報告していき、皆さんにも伺いながら事業所のケアの取り組み方を考えていく。 | 会議は中止しているが、こちらからお便りやサービス状況のご報告を定期的にさせて頂いている。中止期間も運営委員の皆様にご報告していただき、質の確保を維持できるよう取り組んでいる。 | 会議中止の間も、お迎え時や定期的なお便りにてこころ庵での過ごし方が分かるよう報告して下さっています。 | 会議の中止している間も、定期的なサービス状況のご報告は継続していき、こころ庵のケア・行事報告・サービス状況等の把握をしていただけるよう働きかけていく。再開時に質の向上が出来ているよう取り組む |

| | | | | |
|----------------------------|---|---|---|--|
| <p>F. 事業所の 防災・災害対策</p> | <p>昔では考えられない規模の災害が各地でも起こっている中、事業所としてご利用者の安全確保を考え、避難先としての機能が活かせるように取り組んでいかなければならない。こころ庵はご家族支援が得られる方々が多いので、ご家族と協力して役割分担を行いながら災害時の支援を行っていく</p> | <p>防災・災害に加え、コロナ感染症という新たな強敵の対策を行い、サービスを中断する事がないよう法人全体で頑張っております。コロナ禍での災害は予想できない位大変だと思います。でもケアの必要な方々を守るよう災害時対応もご家族と協力しながら取り組みを継続しています。</p> | <p>防災・災害よりも対応の困難な感染症の中でも、今までと変わらないサービスを継続されている事に関心してます。窮屈な世の中になっても、笑顔で変わらず対応される福祉の方々には感謝です。</p> | <p>防災・災害・感染症と毎年のように災難が続きますが、ご利用者の生活リズムの乱れが認知症や疾患を進行させてしまうので、事業所としてサービスを継続させていく努力を今後も行っていきます。</p> |
|----------------------------|---|---|---|--|

